

© 創通・サンライズ

RG¹⁴⁴
EXCITEMENT EMBODIED

GUNDAM.INFO

Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信料等はお客様の責任となります。

07

GUNDAM MK-II TITANS PROTOTYPE MOBILE SUIT RX-178 リアルグレード 1/144 スケールモデル ガンダム Mk-II (ティターンズ仕様)

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.



⚠ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

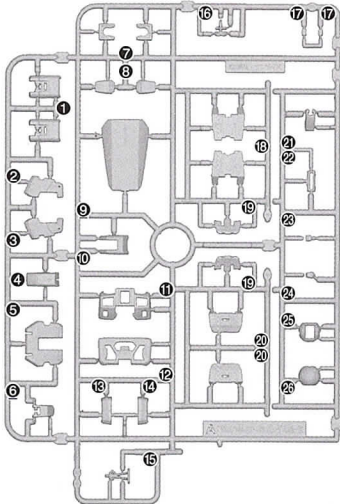
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト

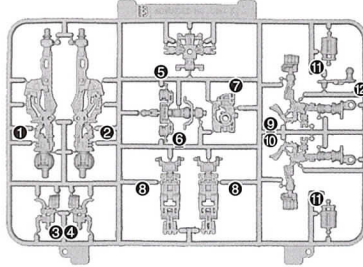
※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属していません。別にご用意ください。)

(×印は使用しないパーツです。)

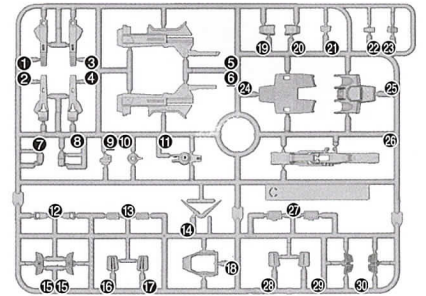
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



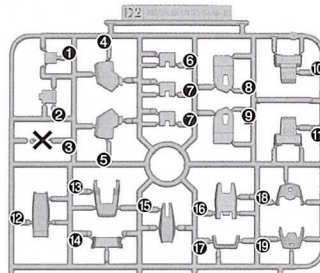
Bパーツ (ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)



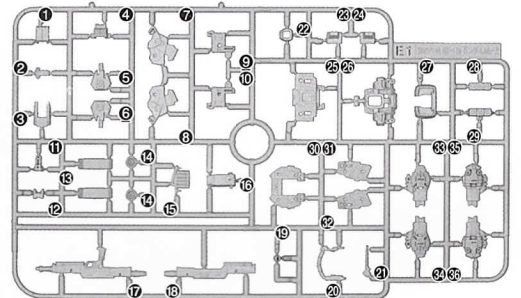
Cパーツ **ファンダゲート有り**
(スチロール樹脂: PS)



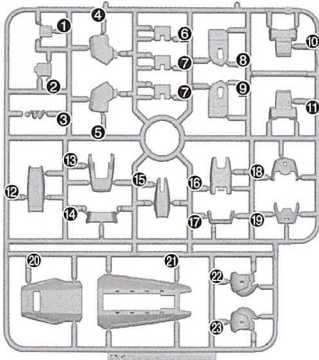
D2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



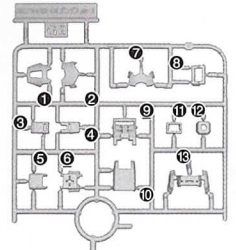
E1パーツ (スチロール樹脂: PS)



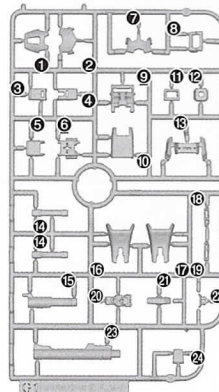
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)



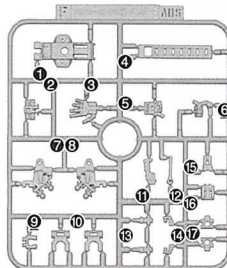
G2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



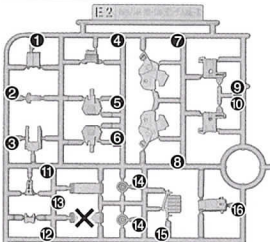
G1パーツ
(スチロール樹脂: PS)



Fパーツ
(ABS樹脂: ABS)



E2パーツ (スチロール樹脂: PS)



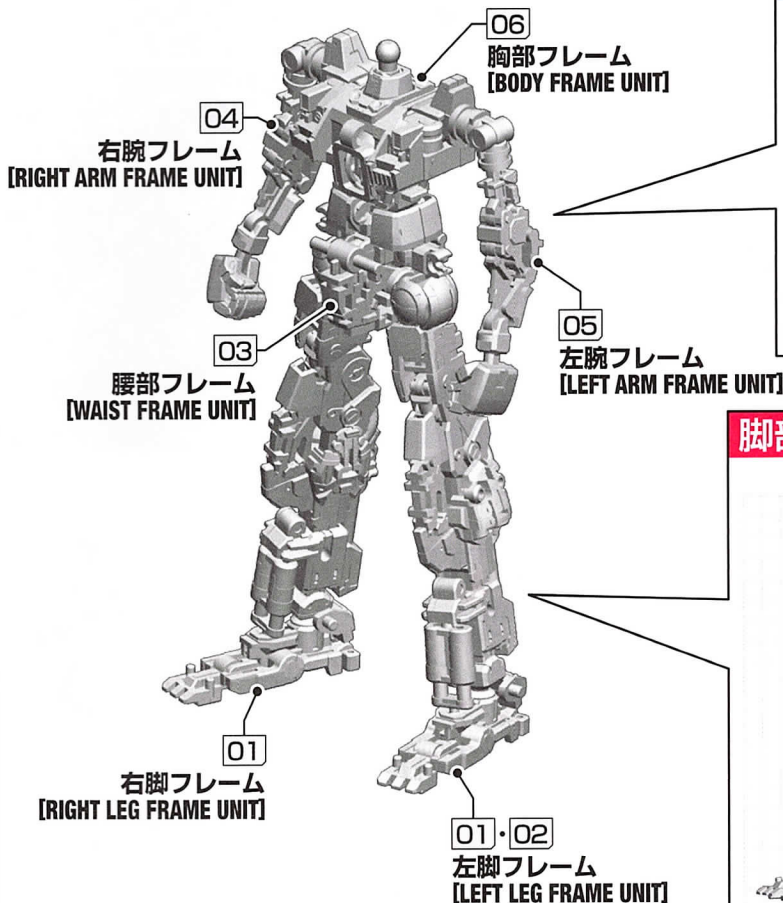
SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

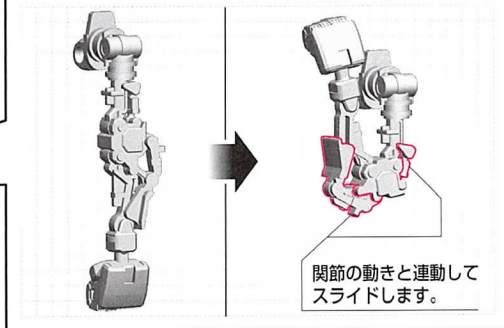
- メッシュパイプ……………1本
(PET樹脂: PET)
- リード線……………1本
(塩化ビニル樹脂: PVC)
- リアリステックデカール…1枚

アドヴァンスドMSジョイント5(Bパーツ)のフレーム構成



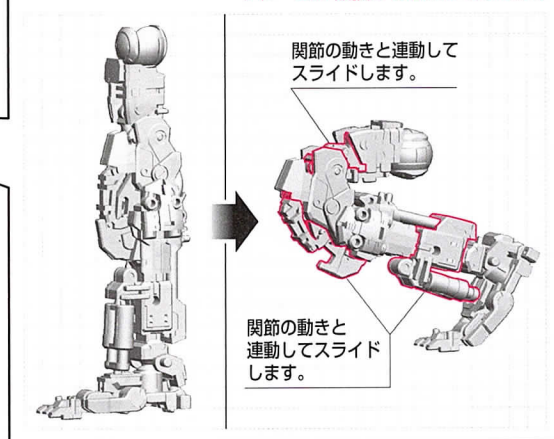
腕部の可動

※可動させる際にはスライドするパーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。

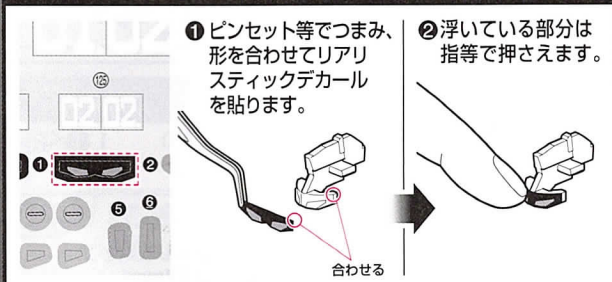


脚部の可動

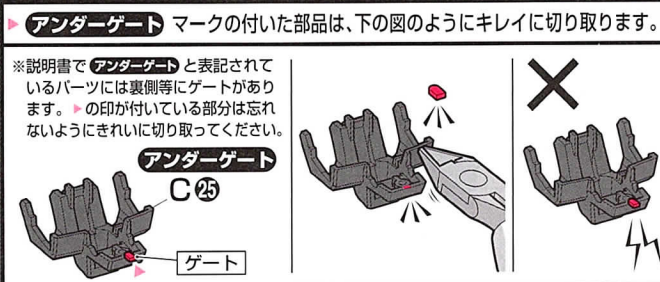
※可動させる際にはスライドするパーツを押さえないでください。フレームが破損する恐れがあります。



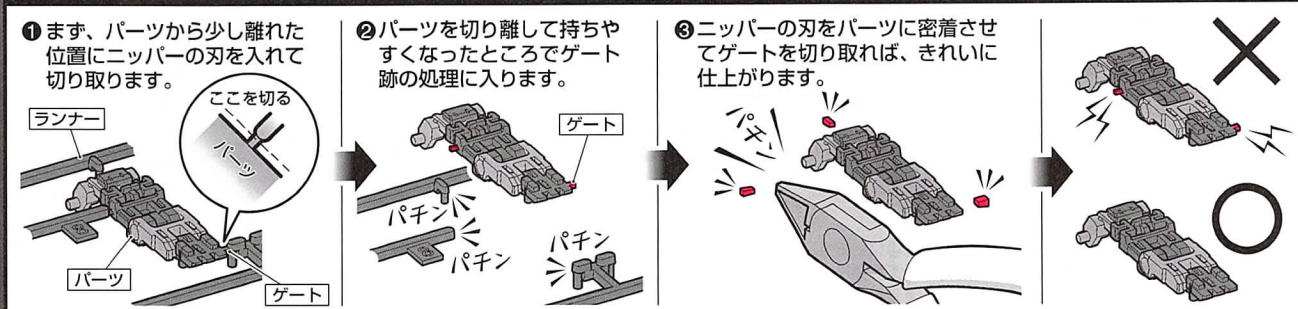
リアリスティックデカールの貼りかた



アンダーゲートの切り取りかた



パーツの切り取りかた





「リアルグレード」は、その名のとおり「本物」であることを追求した新ブランドです。精密なディテールを豊富なカラーパーツと共に再現し、込められる限りの可動領域を、切り取るだけの組み立て済みインナーフレームへ搭載しました。モビルスーツを作る楽しみと興奮を、ガンダムを知る全ての世代へ。1/144スケールの手のひらサイズに込めた、数々のギミックをご堪能ください。

REAL SYSTEM リアルシステムとは

モビルスーツの「リアル」を実体験するために生み出された表現技法です。 ●全設定再現：モビルスーツの機能設定を1/144サイズに集約しています。
●組み立て済みジョイントフレーム：最小限の部品数で、最大限の可動を実現しています。 ●リアルな質感表現デカール：メカとしての質感を金属表現シールで再現しました。

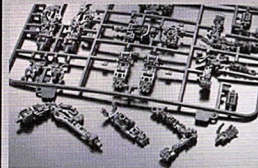
MOVABLE FRAME

“ムーバブル・フレーム”は、ティターンズ主導のもと、連邦軍生え抜きの技術者だけで開発されていたガンダムMk-IIに初めて本格的に全面採用されたMSの基礎構造である。それはまさしくMSを人体に見立てたもので、概念的には人間の骨格と筋肉そのものと言える。可動のための基本構造を、装甲や武装などは独立して構成することで、駆動効率を優先した設計が可能となり、装甲のスライドや開閉も自在に設定可能とすることで、運動性の飛躍的な向上を達成している。並行して各種回路の取り回しやエネルギー経路なども刷新されたため、既存の機体と比較して生産性や整備性が格段に向上している。無論、Mk-IIのものはあくまで試作段階のものであったが、“ムーバブル・フレームの出現”によって、MSは抜本的な変革期を迎えたと言っても過言ではない。



ADVANCED MS JOINT

多重インサート成形という特殊技術により、切り取るだけの手軽さでありながら、フレームの精密感や、驚異的な可動機構を備えた、リアルグレード専用の内部フレームです。

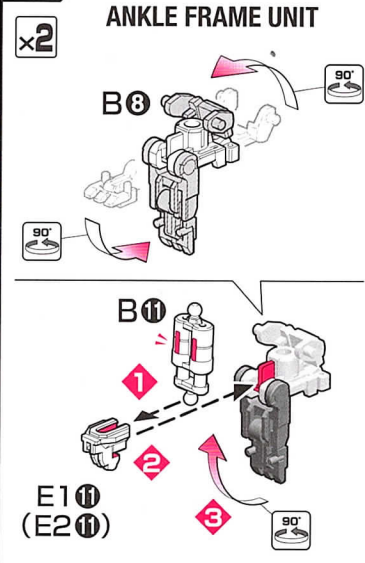


MOVABLE FRAME

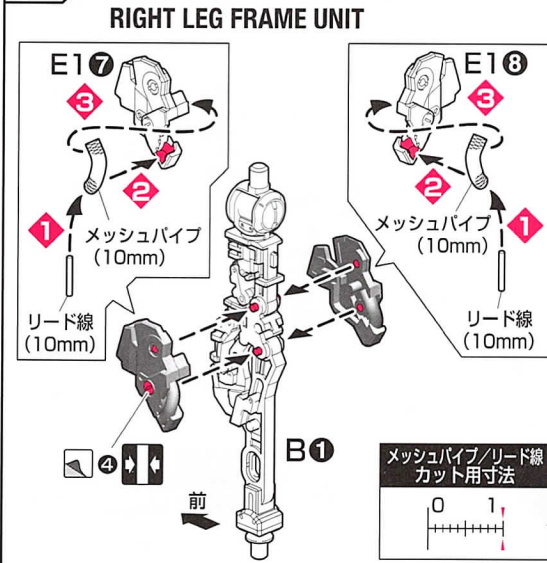


GUNDAM MK-II TITANS PROTOTYPE MOBILE SUIT RX-178

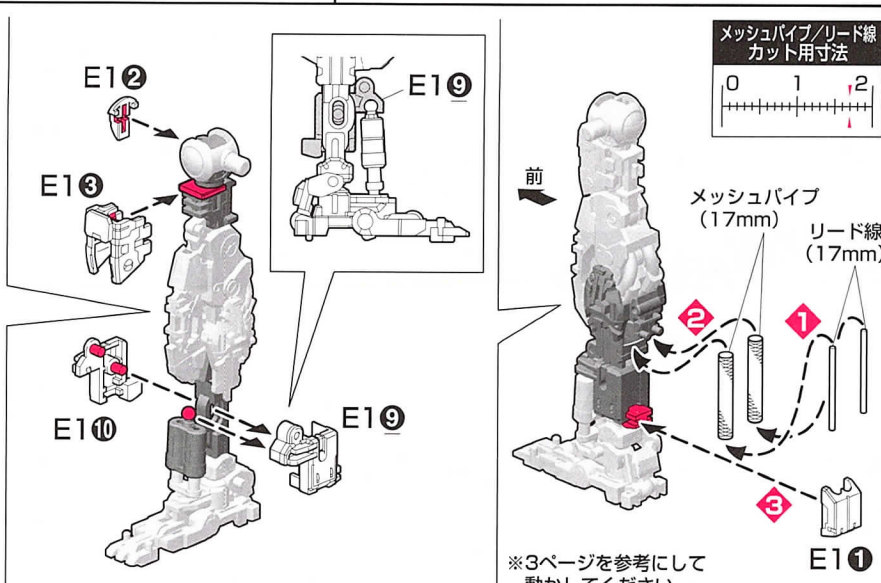
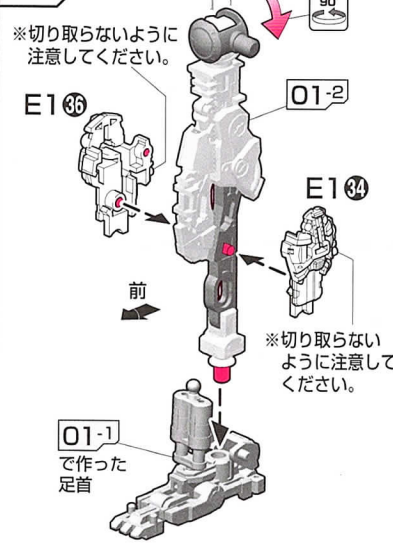
01-1 [足首フレームの組立]



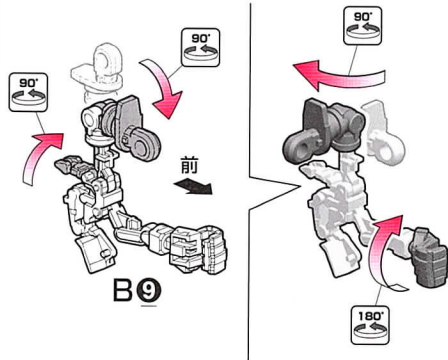
01-2 [右脚フレームの組立]



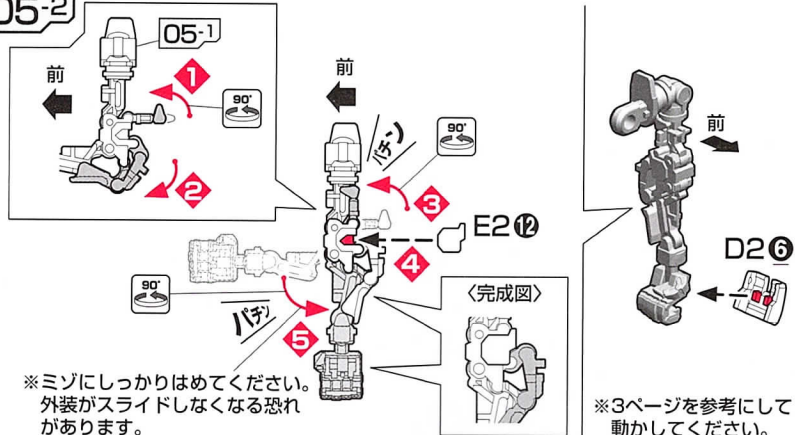
01-3



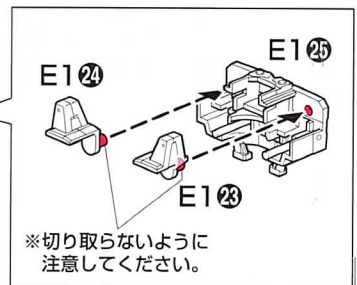
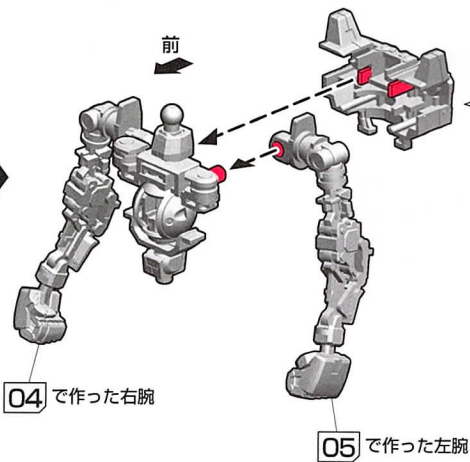
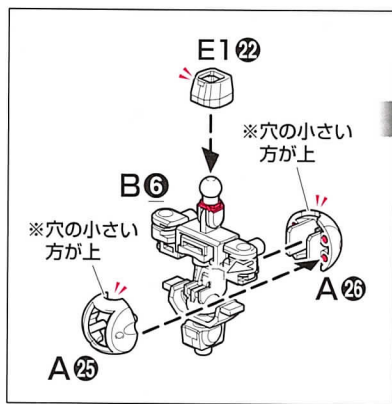
05-1 [左腕フレームの組立]
LEFT ARM FRAME UNIT



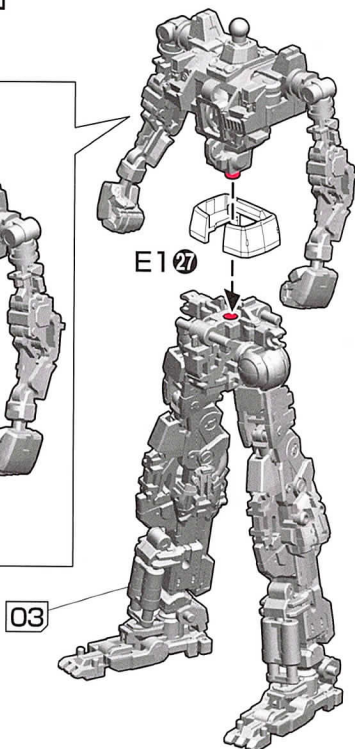
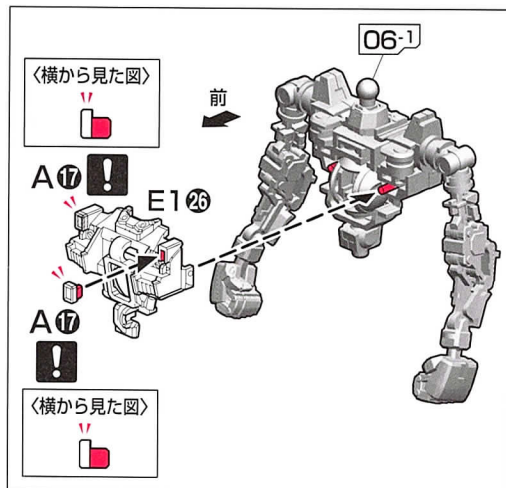
05-2



06-1 [胸部フレームの組立]
BODY FRAME UNIT



06-2 [ムーバブル・フレームの完成]
MOVABLE FRAME UNIT

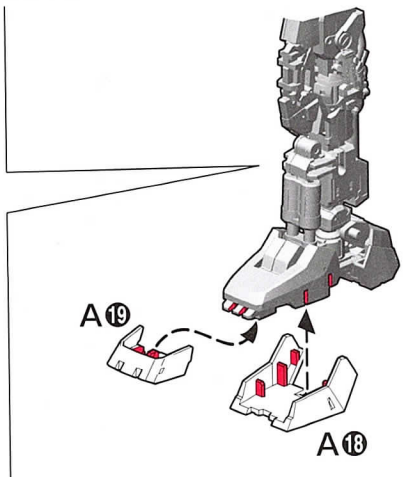
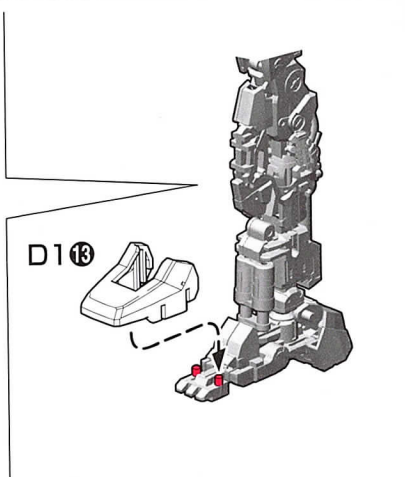
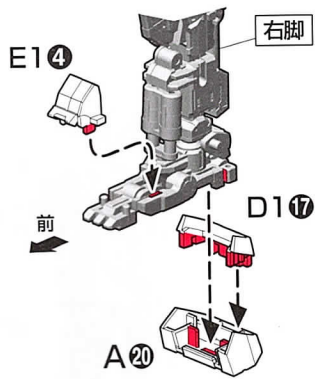


GUNDAM Mk-II

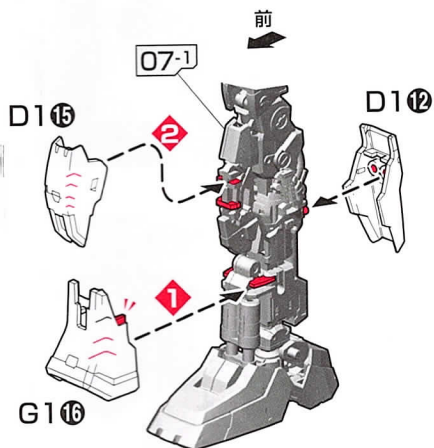


GUNDAM Mk-II
PROTOTYPE Mk-II
UNIT RX-178

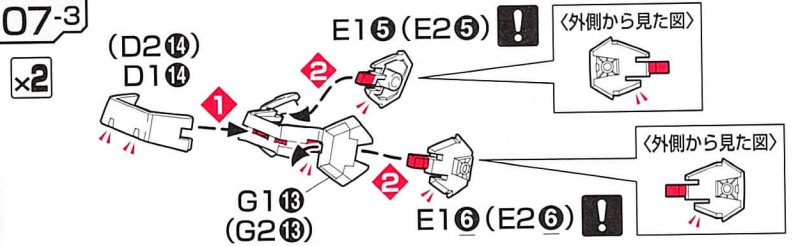
07-1 [右脚外装の組立]
RIGHT LEG ARMOR UNIT



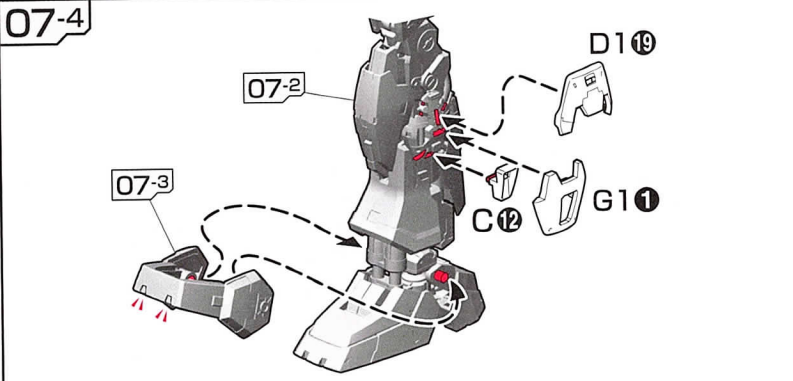
07-2



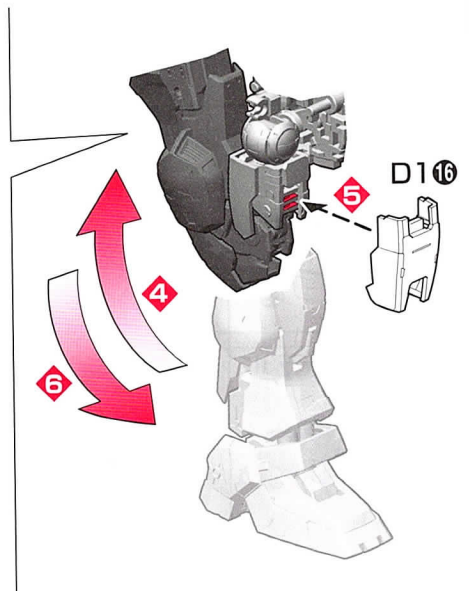
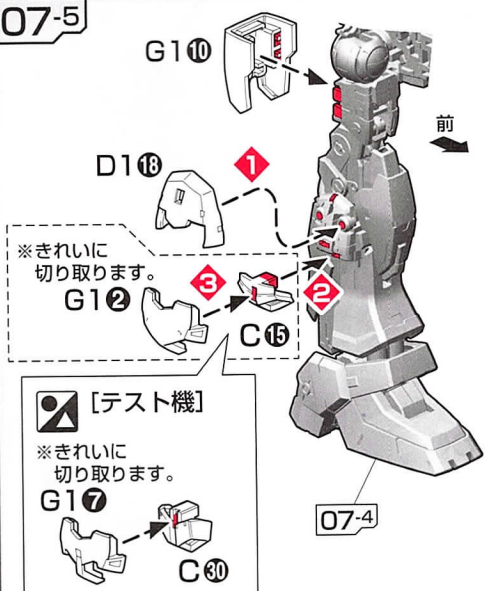
07-3



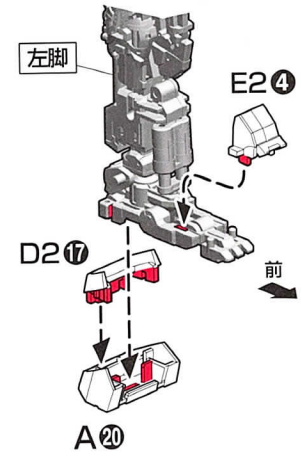
07-4



07-5



08-1 [左脚外装の組立]
LEFT LEG ARMOR UNIT



※組立図中の記号説明

! 向きに注意して組み立てる

x2 部品を数値の個数作ります

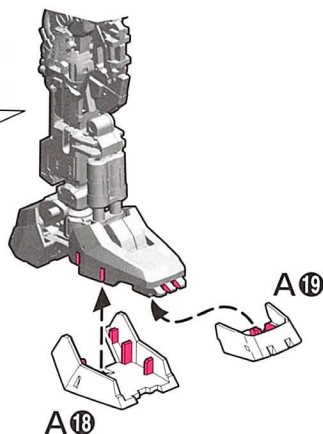
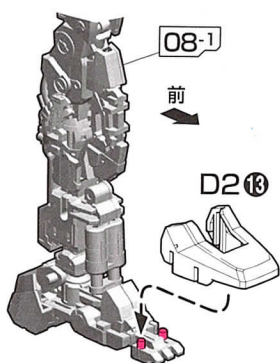
△ どちらかを選んで取りつける

GUNDAM Mk-II [TITANS]

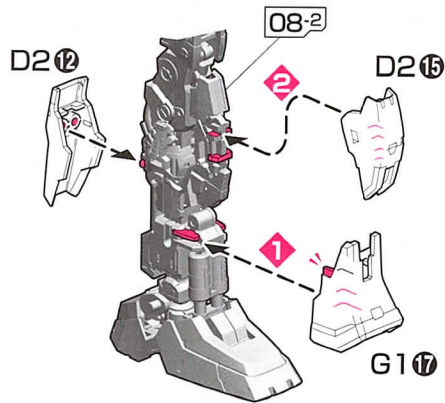
ティターンズの旗艦MSとして開発されたガンダムMk-IIは、連邦系の技術のみで開発することが命題のひとつとされた。リニアシートと全天周モニターを内装するイジェクションポッドを兼ねたコクピットユニットは、いわば簡易型のコアブロックとも呼べる装備として、当時の機体の標準装備となっていた。ユニット単位で機能を分離または完結させるというコンセプトは、当時の技術的な趨勢でもあったのである。また、「人体の挙動を模倣」する事に特化されたムーバブル・フレームの採用に伴って、近接戦闘における戦術や戦法を再検討すべく、標準的な兵装に加え、武装のバリエーションも広範に探索されることとなった。その際、一年戦争以降に接収された公国系の武装に加え、封印されたはずの「デラズ紛争」期の兵装なども試験的に運用されたと言われている。また、最終的な仕様では採用されなかったパーツなども多数存在しており、特殊任務を想定した強化案や専用のSFS（サブフライトシステム）の素案なども想定されていた。しかし、あくまで「試作機」としての運用を逸脱することは無かったのである。



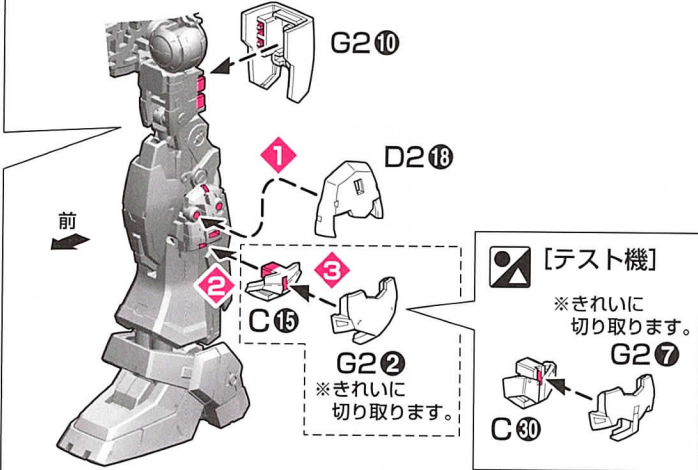
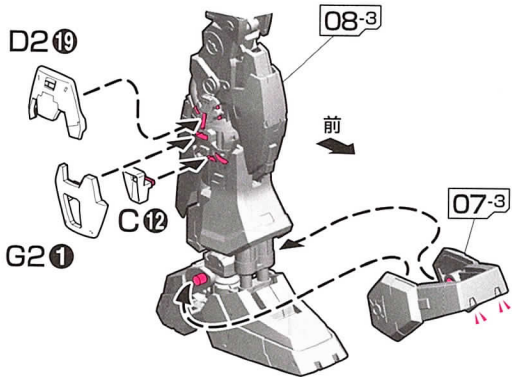
08-2



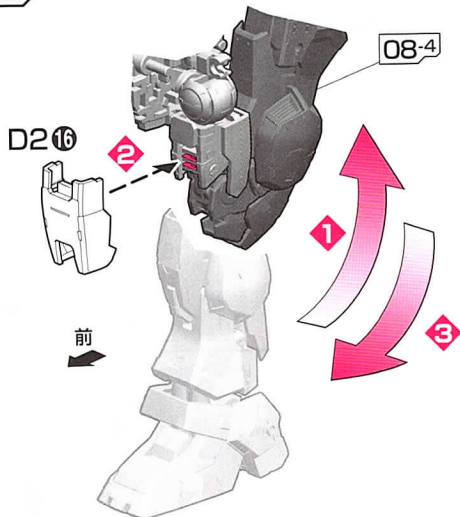
08-3



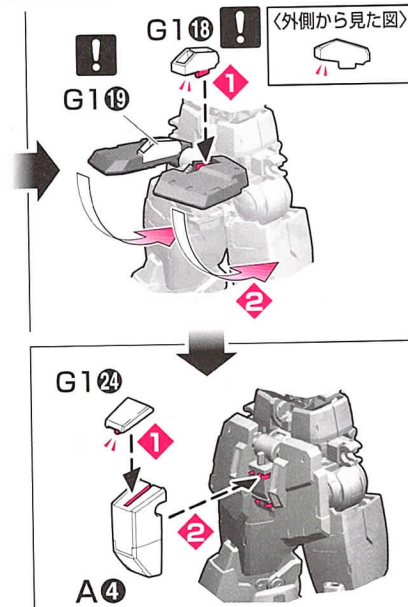
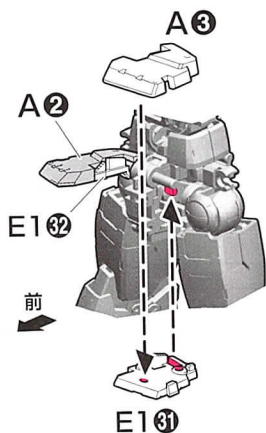
08-4



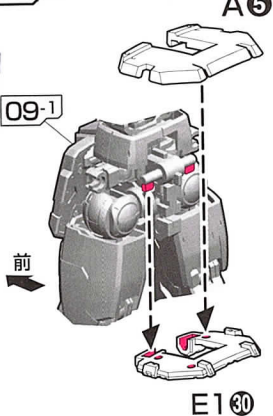
08-5



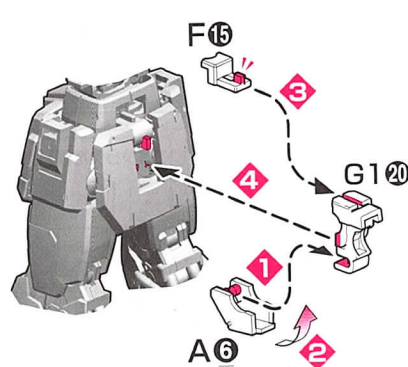
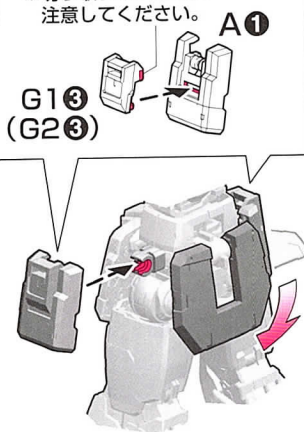
09-1 [腰部外装の組立]
WAIST ARMOR UNIT



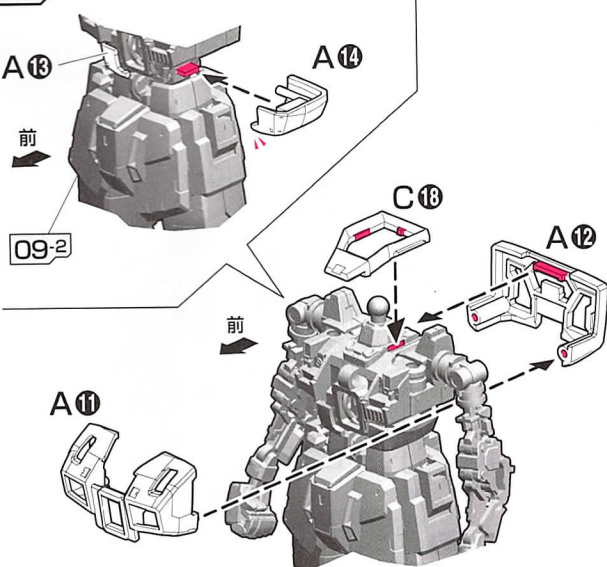
09-2



x2 ※切り取らないように注意してください。



09-3

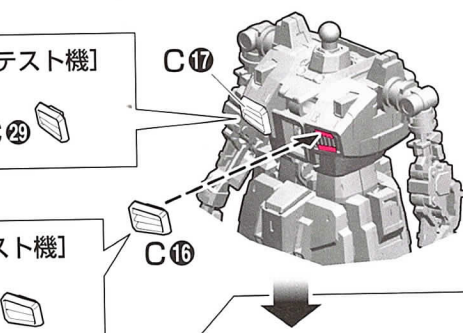


[テスト機]

C29

[テスト機]

C28

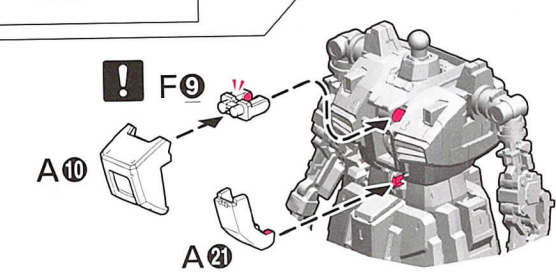


!

F9

A10

A21



※組立図中の記号説明

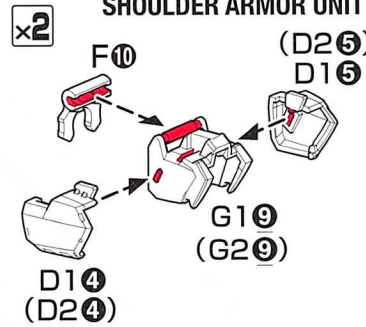
! 向きに注意して組み立てる

x2 部品を数値の個数作ります

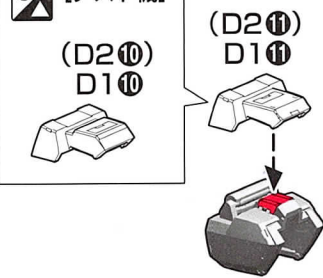
☒ どちらかを選んで取りつける

10-1 [肩部外装の組立]

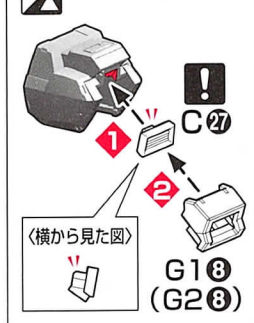
SHOULDER ARMOR UNIT



[テスト機]

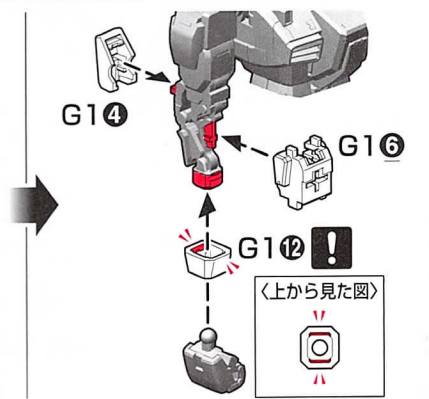
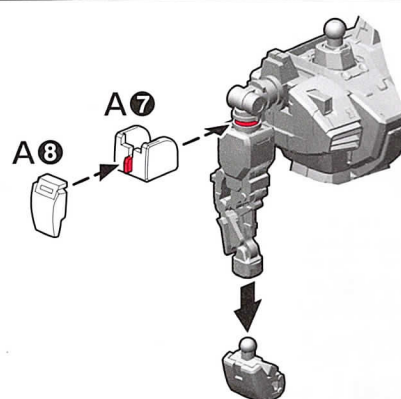
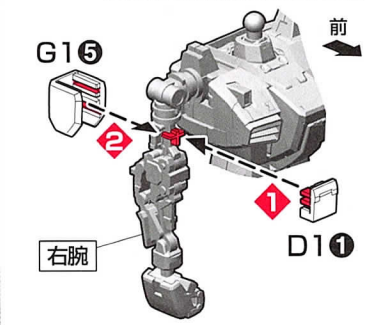


[テスト機]

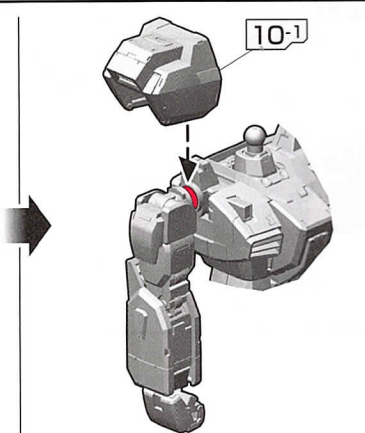
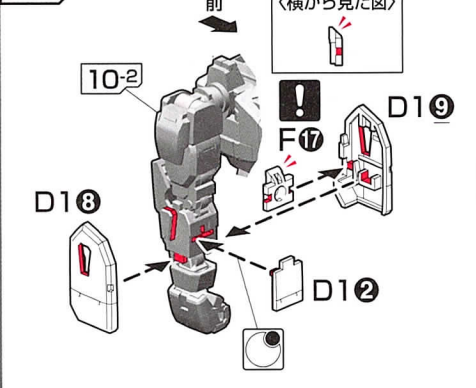


10-2 [右腕外装の組立]

RIGHT ARM ARMOR UNIT

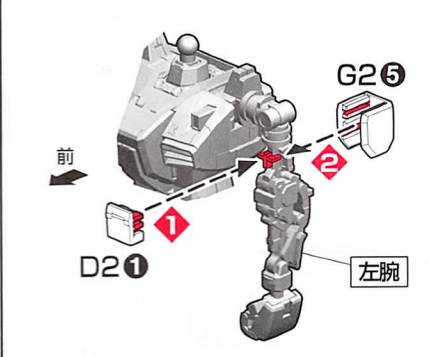


10-3

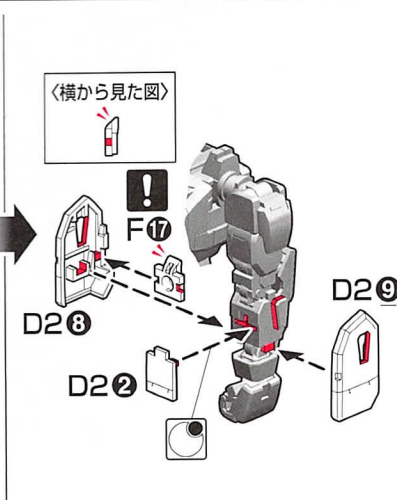
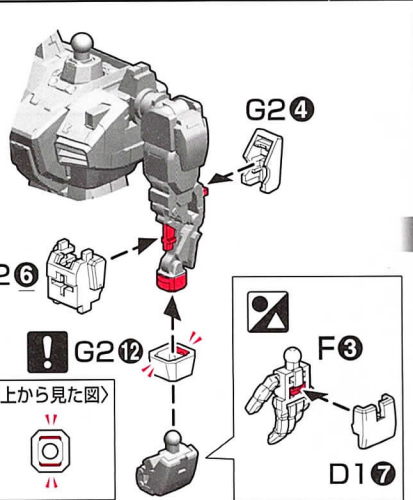
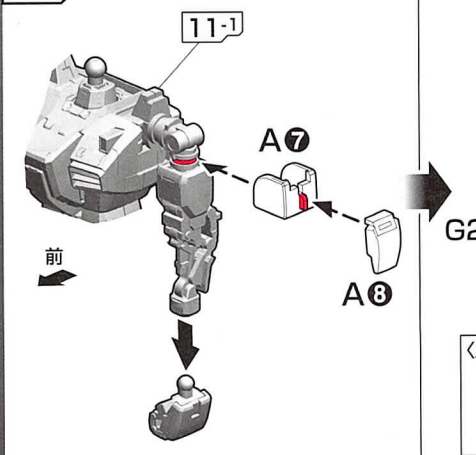


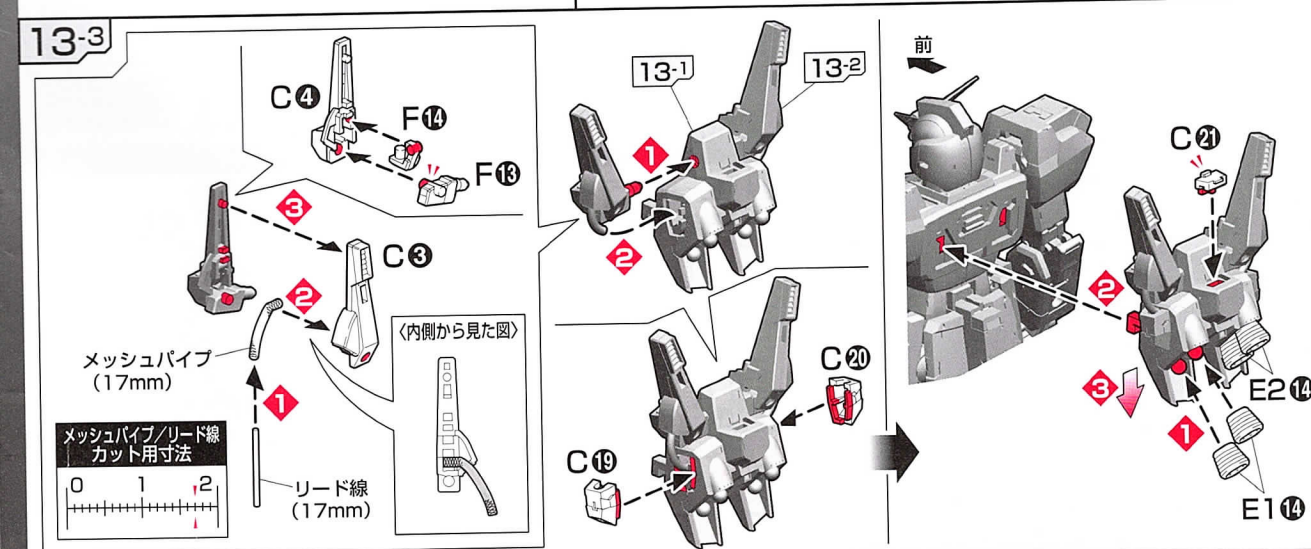
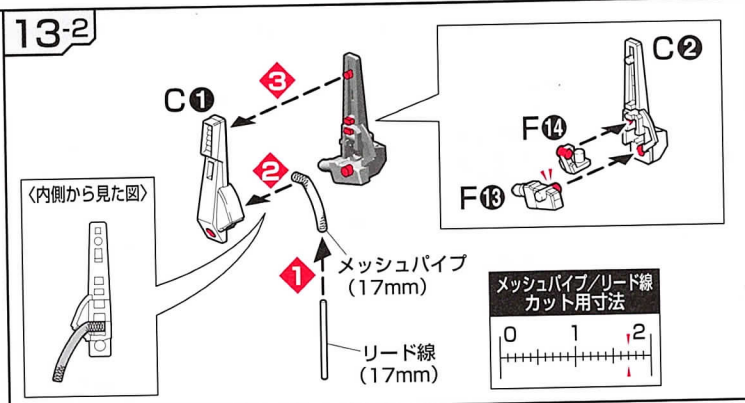
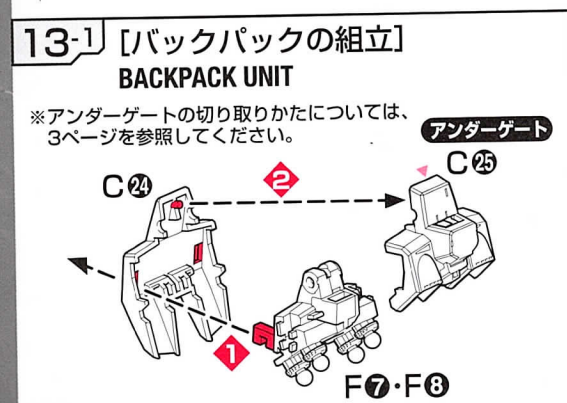
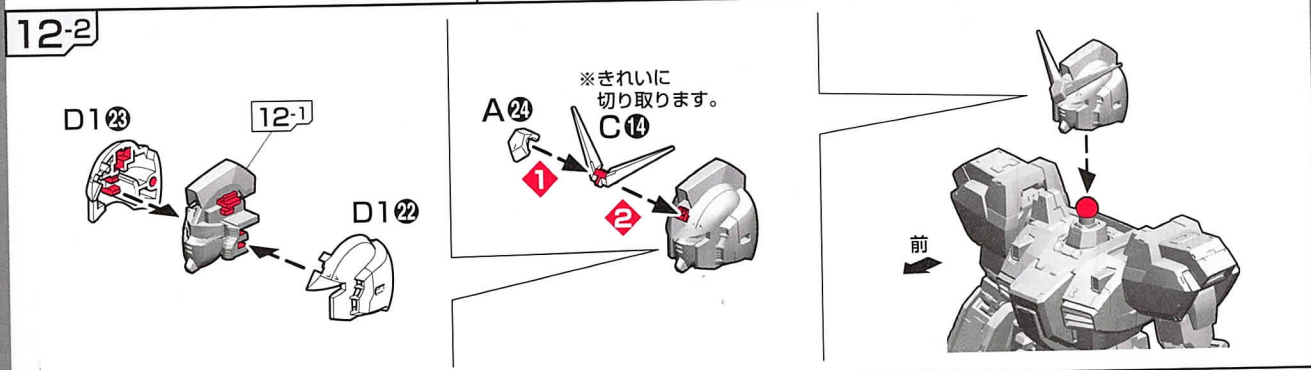
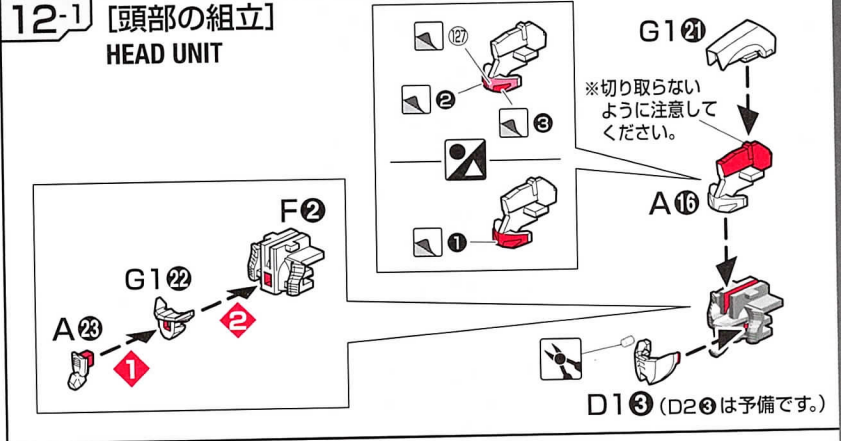
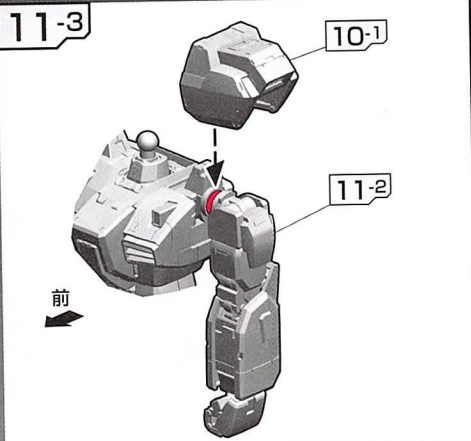
11-1 [左腕外装の組立]

LEFT ARM ARMOR UNIT



11-2



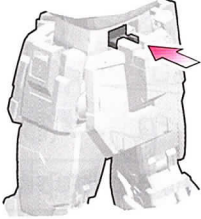


※組立図中の記号説明

- どちらかを選んで取り付ける
- シールの番号
- 切り取る部分

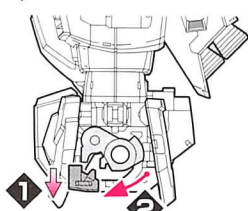
14 ※A⑥は好きなところに飾ってください。

※腰のスイングをロック
できます。

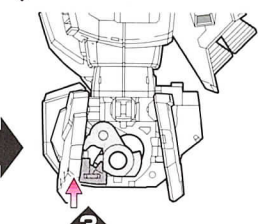


※脚の可動範囲が広がります。

- ① ロックを下げます。
- ② 股間軸を前に動かします。

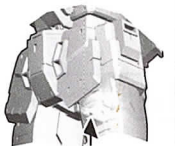
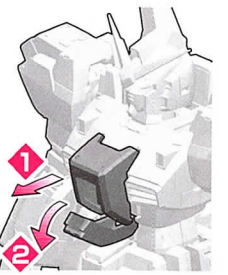


- ③ ロックを上げます。



※説明のため、一部イラストを省略しています。

〈コックピットハッチの開け方〉



F16

※バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売り)を使用して
ディスプレイできます。

※画像の完成品は塗装してあります。
※画像は参考のために完成したものを使用しています。

WEAPON

【頭部バルカン・ポッド】

ヘッドユニット内部の構造変更に伴ってオプションとされた。左側が2門の銃口を備えたサブセンサー装備の機関部で、右側は弾倉兼カウンターウエイトとして機能する。カートリッジの弾丸が採用されており、ガンダムよりも表弾数が増量されている。



【ビーム・サーベル】

バックパックのフレキシブルバーニアスラスタースターに1基ずつ計2基装備する。形状は専用デザインされているが、内装するビーム発振デバイスは標準的な規格品を改造したもの。ユニット自体に着脱機構を備えている。



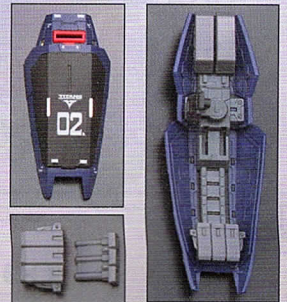
【ビーム・ライフル】

エネルギーバック方式を採用し、ミニビュレータからのエネルギー供給機構はオミットされている。モード変更による出力調節が可能で、1バックあたり、戦艦並みの威力を持つ最大出力であれば3発ほど、通常の運用であれば7発程度のエネルギー容量を持つ。サイドスカートのラッチなどにマウントして携行することもできる。



【シールド】

全長を伸縮でき、慣性モーメントを調整できる。表面には耐ビームコーティングが施されており、数度のビーム直撃を減免する。裏面に予備のエネルギーバックやミサイル・ランチャーを装備することも可能。



【ハイパー・バズーカ】

数年前から連邦軍で採用されている標準的な兵装の更新装備。腰部のマウントラッチに装着することができるほか、機関部は打突に使用することもできるほどの堅牢さを誇る。実際そのように運用された例の有無は不明。通常弾のほか、散弾や各種榴弾なども使用可能。

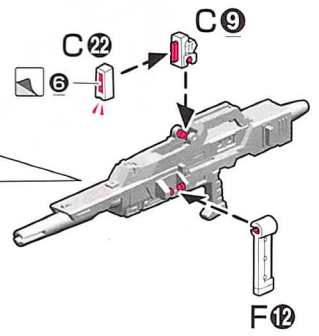
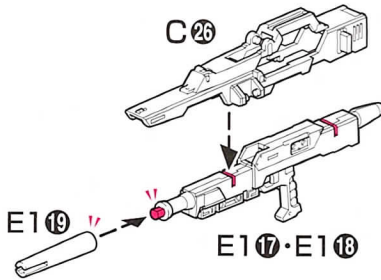


WEAPONS



GUNDAM MK-II TITANS
PROTOTYPE MOBILE SUIT RX-178

15-1 【ビーム・ライフルの組立】
BEAM RIFLE



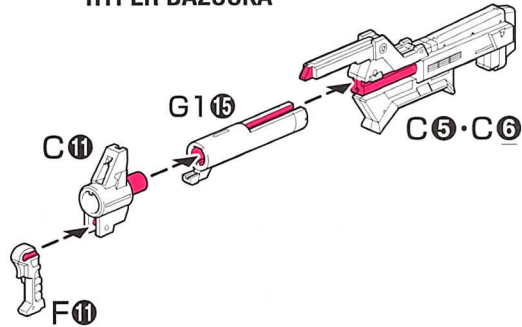
※組立図中の記号説明

① シールの番号

15-2



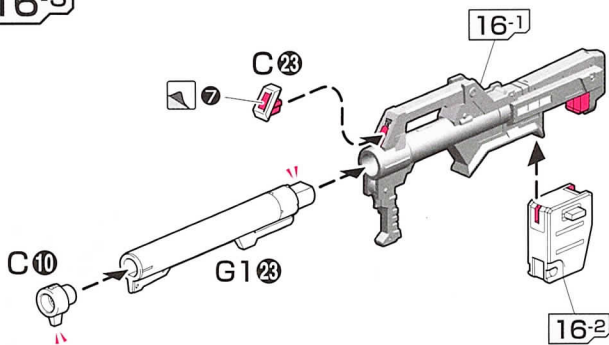
16-1 [ハイパー・バズーカの組立]
HYPER BAZOOKA



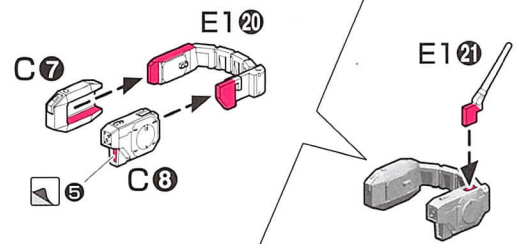
16-2



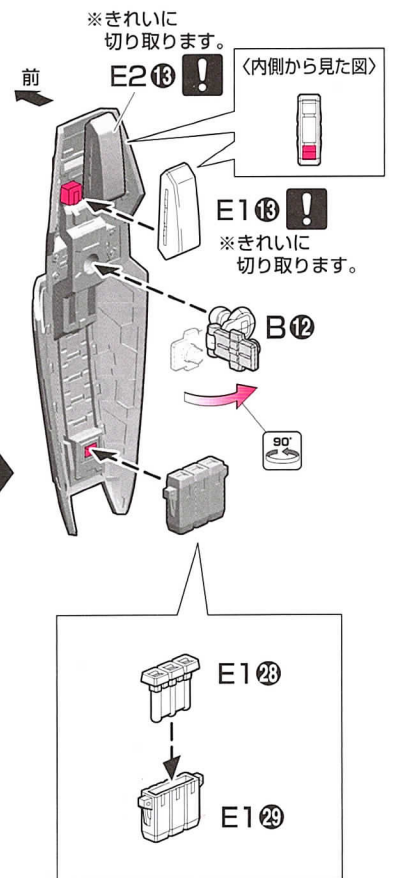
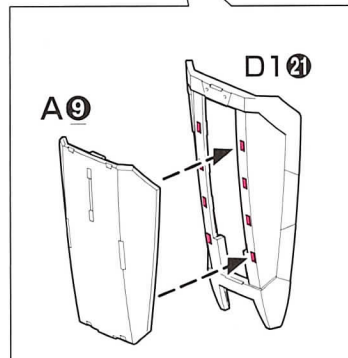
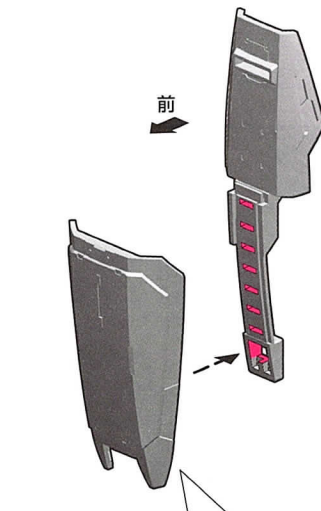
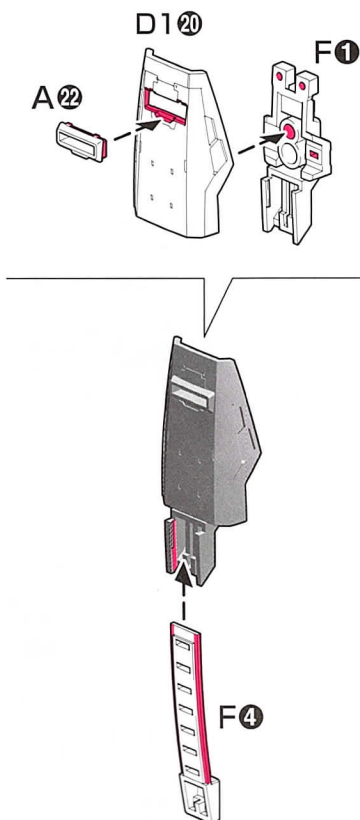
16-3



17 [バルカン・ポッドの組立]
VULCAN POD



18 [シールドの組立]
SHIELD



※組立図中の
記号説明

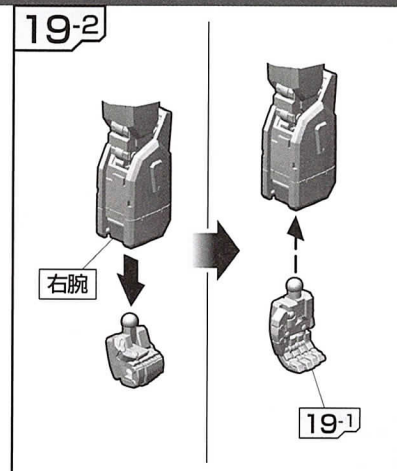
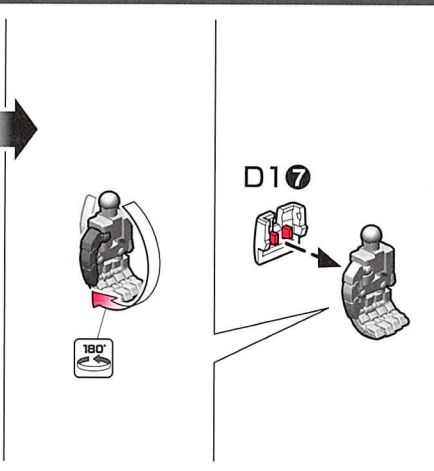
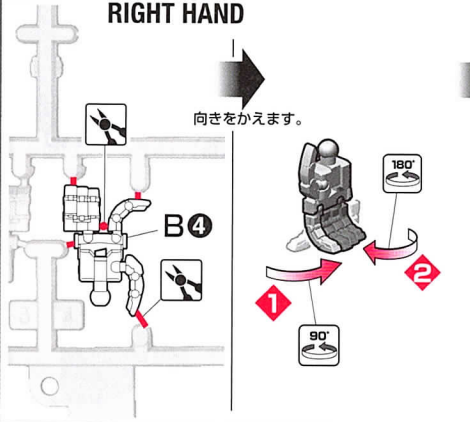
x2 部品を数値の
個数作ります

1 シール
の番号

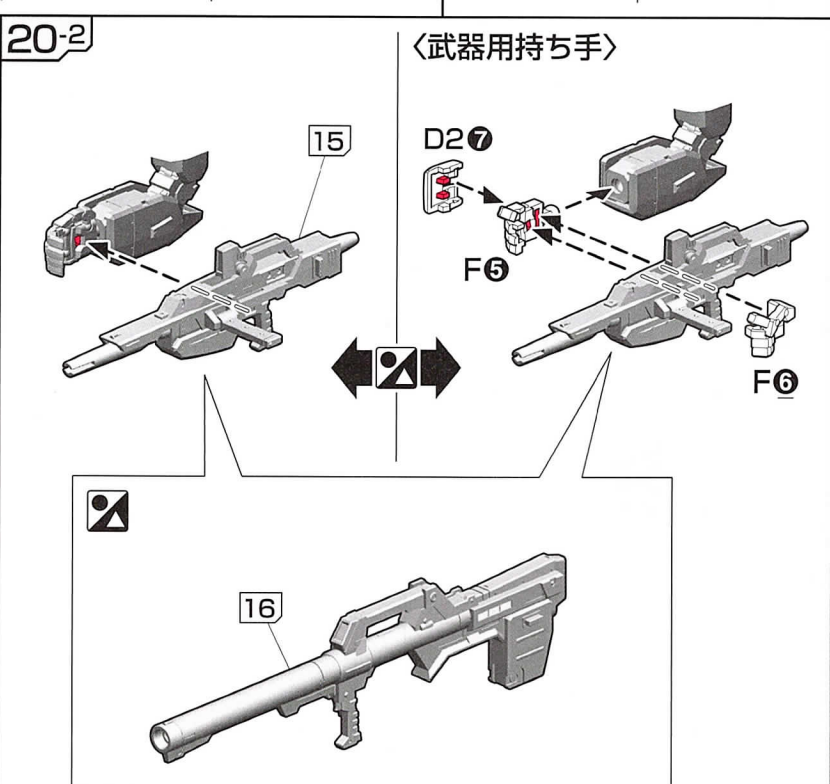
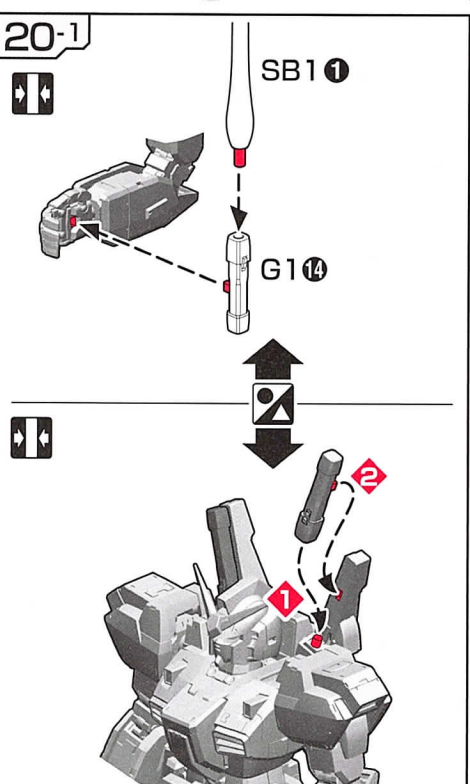
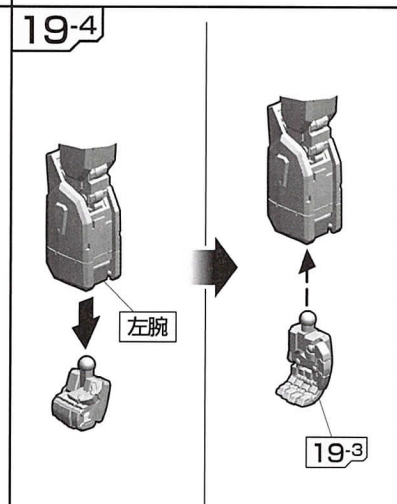
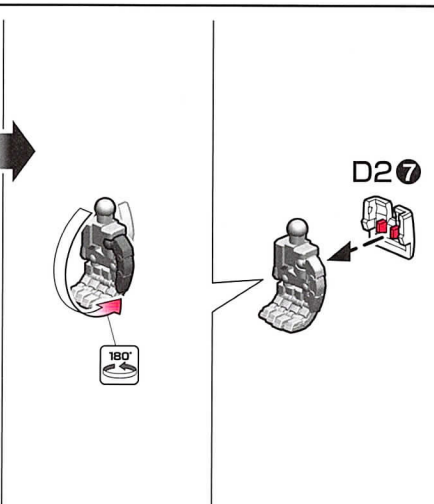
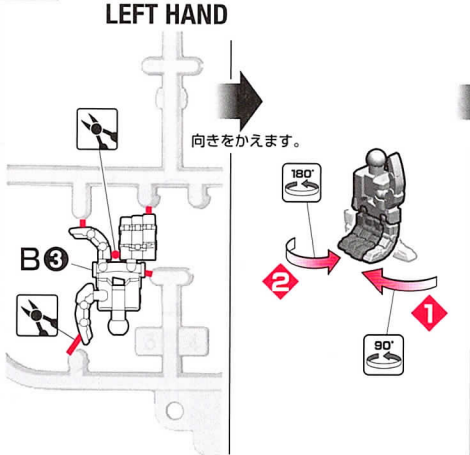
! 向きに注意して
組み立てる

90° 数値に合わせて
回転させます

19-1 [右手首の組立]
RIGHT HAND



19-3 [左手首の組立]
LEFT HAND



REALISTIC DECAL

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。

※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。
 ※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。
 ※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。

※このマーキングはプラモデルオリジナルのもので、シールを貼る際にはピンセットのご使用をお勧めします。

COLOR CHART

※塗装を楽しまない方は、右の基本色をご確認ください。
 ※水性塗料の使用をおすすめします。
 ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

- 本体等ブルー部の塗装色。ブルー(45%) + ホワイト(25%) + レッド(20%) + ブラック(10%)
- スネ等ダークブルー部の塗装色。ブルー(40%) + レッド(25%) + ブラック(20%) + ホワイト(15%)
- 胸等ブラック部の塗装色。ブラック(70%) + ホワイト(15%) + ブラン(15%)
- インター等イエロー部の塗装色。ホワイト(60%) + オレンジイエロー(40%)

- コクピットハッチ等レッド部の塗装色。モンザレッド(60%) + シヤインレッド(40%)
- 腕部等グレー部の塗装色。グレー(85%) + ブラック(10%) + パープル(5%)
- バックパック等ダークグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー(85%) + ホワイト(10%) + インディブルー(5%)



- 本体等ダークグレー部の塗装色。ネビーブルー(100%)
- 肩等レッド部の塗装色。オリーブ(100%)
- ヘルメット等シヤインブルー部の塗装色。ブラック(100%)
- バックパック等ライトブルー部の塗装色。ブルーグレー(60%) + ホワイト(40%)
- バックパックブランク部の塗装色。マホガニー(100%)
- ハイゲイズスキャーラー部の塗装色。スチールブルー(100%)